自己評価報告書

平成23年 4月20日現在

機関番号: 32612 研究種目:若手研究(B) 研究期間:2008~2012 課題番号:20720079

研究課題名(和文) 19世紀アメリカ東海岸におけるユニテリアニズムを中心とした宗教と

性差の研究

研究課題名(英文) Religion and Gender: New England Unitarianism in the 19th century

America 研究代表者

> 大串 尚代(OGUSHI HISAYO) 慶應義塾大学・文学部・准教授

研究者番号:70327683

研究分野:人文学

科研費の分科・細目:文学 英米・英語圏文学

キーワード:アメリカの宗教 女性と宗教 ユニタリアニズム 女性参政権 ニューイングラ

ンド思潮史 間大西洋 リバイバリズム

1.研究計画の概要

本研究は、アメリカ独立革命後にひとつの国 家としての道を模索していた 18 世紀末から 19世紀初頭にかけておこった「ユニテリアン 論争」を足がかりに、自由キリスト教といわ れるユニテリアニズム(自由キリスト教)お よびトランセンデンタリズム(超絶主義)の 台頭と女性作家の宗教観の変遷を研究する ことを目的とする。本研究の内容は以下の通 りである。1)ハナ・アダムズとジェディデ ィア・モースによる 1805 年に始まる歴史教 科書論争と、ジェディディア・モースとウィ リアム・エマソンらハーバード出身者による ユニテリアン論争の関係 2)ユニテリアニ ズムおよびトランセンデンタリズムにおけ るヨーロッパとの関係 (宗教のトランス・ア トランティックな関係) 3) 1820 年代に始 まるキャサリン・マリア・セジウィックのユ ニテリアン・トラクトへの執筆と、反カルヴ ィニズム的態度 4)1848年に発表されたエ リザベス・ケイディ・スタントンによる女性 の独立宣言とよばれる「所感宣言」および 1892 年にスタントンが出版した女性の観点 から聖書を読み直した『女性の聖書』(The Women's Bible)における宗教的背景 5)1850 年代に出版されたリディア・マリア・チャイ ルドの宗教史と懐疑主義思想およびアン・ハ チンソン再評価について

2. 研究の進捗状況

19世紀初頭に始まった、ハーバード大学を中心としたユニテリアニズムと、イェール大学を本拠地としたカルヴィニズムの闘いは、女性対男性の対立になっている点において、その後のアメリカ東海岸の女性の宗教的立

場を示唆するものになっていた。にもかかわ らず、ユニテリアニズムとジェンダーの関係 は、文学の立場からは論じられることが少な く、特に 18 世紀末から 19 世紀初頭にかけて 歴史書を出版したハナ・アダムズに関する論 文については、アメリカにおいてさえも歴史 学からのアプローチがほとんどであり、それ らは女性文学でのアダムズの位置づけを行 っていたとは言い難かった。一方女性文学研 究では、これまで文学の男性中心的・家父長 的側面の強い戒律の遵守を重視するカルヴ ィニズムからの脱却について、ハナ・アダム ズについての言及はなされてこなかった。ア ダムズを再評価するうえで、マサチューセッ ツ州ウースターにあるアメリカ古文書協会 における文献調査の結果、後続の女性作家と ユニテリアニズムについての考察を深める ことができたことは大きな成果となった。ア ダムズを 19 世紀アメリカ女性作家の起点と することで、19世紀に活躍したチャイルドや セジウィックらとの関係を明らかにするこ とができたと思われる。現在は 19 世紀半ば から 19 世紀末までを射程に入れ、1848 年に 発表されたエリザベス・ケイディ・スタント ンの「所感宣言」から、1890年代に刊行され た『女性の聖書』への思想的なつながりにつ いての考察をつめている段階にある。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。資料の電子 化およびオンデマンド出版の普及にともな い、資料収集は順調に進んでいる。口頭発表 を行う機会も多く、また学術誌に投稿する論 文の準備が整いつつある。

4. 今後の研究の推進方策

今後の研究予定は以下のとおりである。 1)現在資料がほぼ揃いつつあるエリザベス・ケイディ・スタントンを中心とした 19世紀後半の女性参政権運動および女性による聖書註釈学をテーマにした論文を執筆する。

2)上記の研究を連動するかたちで、リディア・マリア・チャイルドが 19 世紀半ばに出版した『宗教思想の進歩』を接続させる。その際に、同時期におこったアン・ハチンソン(アメリカ植民地時代に宗教的迫害を受けた女性)の再評価との関係をさぐる。この時期になぜ女性の宗教的反逆者が再評価されるにいたったかを社会背景とともにあきらかにする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

大串尚代「森と川と記憶―ソローとチャイルドのインディアン表象」『ヘンリー・ソロー 論集』査読有 第36号 2010年 3140頁

[学会発表](計0件)

[図書](計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号:

出願年月日: 国内外の別:

取得状況(計0件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号:

取得年月日: 国内外の別: [その他]